

普及活動情勢報告（令和3年12月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

新メニューの試作会を行いました！ ～JA 高知市女性部直販部会「なるクラブ」～



試作会の様子

11月26日に普及所は、6次産業化普及推進事業を活用して、フードプロデューサーの大原一郎氏を講師に招き、新メニューの試作会を開催し、なるクラブ員8名の参加がありました。

なるクラブでは、以前より管内で生産されたトマトをピューレに加工していました。今回はそのトマトピューレを使い、「トマトソース」と「トマトソースのパエリア」の試作を行いました。参加者からは、「美味しい！」、「月に数回パエリアの日を設けたい。」等の声があがり、商品化に向けて活発な意見交換が行われました。

普及所は今後も、新メニュー開発など経営安定に向けてサポートしていきます。

次作に向けた今年最後の総決算！ ～JA 高知市稲作部会年末研修会～



実証ほの結果を聞く生産者

12月6日、ドリーマーベイシャトーにて、JA 高知市稲作部会年末研修会が開催され、生産者23名が参加しました。

JA 高知市からは米穀集出荷状況、JA 高知県からは米穀販売状況や肥料・農薬について情報提供がありました。

普及所からは、令和3年度産米の生育概況や、‘よさ恋美人’の収穫期前進化、多収性品種‘秋はるか’、‘たちはるか’の現地適応性の検討などの実証試験結果を報告しました。生産者からは、「‘よさ恋美人’の早期出荷で価格も高くなってええね。」、「来年度、‘秋はるか’、‘たちはるか’の栽培面積を増やしてみる。」といった反応がありました。

普及所は、今後も水稻の安定生産技術の普及推進に取り組んでいきます。

地域の課題について話し合おう ～人・農地プランの実質化に向けた座談会～



人・農地プラン座談会
（介良地区）

12月16日、JA 高知市介良支所で、人・農地プラン実質化に向けた座談会が開催され、介良地区の生産者6人が参加しました。

座談会では、「小さい田んぼが離れたところにあり、作業が大変」、「高齢化で栽培できなくなった人の農地が集まってくる」等、農地や担い手等に関する農業の課題について、様々な意見が出されました。普及所は、市や関係機関とともに地域の課題解決のために、農業機械の共同利用や集落営農等の取組を提案しました。

今後、各地区で座談会の開催が予定されており、普及所では引き続き、全地区での人・農地プランの実質化及び地区の課題解決に協力していきます。

IoP ってなんだろう！？ ～中央西ブロック青年農業士研修会～



研修会の様子

12月17日、令和3年度中央西ブロック青年農業士研修会が中央西農業振興センターで開催され、高知市や土佐市などの青年農業士10名が参加しました。普及所は青年農業士と協力して、研修会の準備や運営を行いました。

研修会では、農業イノベーション推進課からIoPの概要や取り組みについて説明を受けた後、意見交換が行われました。青年農業士からはIoPクラウドに対する要望など、多くの意見がありました。

普及所は、今後も産地を担っていく青年農業士の活動をサポートしていきます。